

鹿児島アリーナ
エンターテインメント設備製造業務委託
企画提案仕様書

令和8年9月
鹿児島市観光交流局スポーツ課

第1章 企画提案書の目的と全体像

1-1 目的

本仕様書は、鹿児島アリーナエンターテインメント設備製造業務において鹿児島市が求める機能、諸元などに基づき、受注者が提案する機器構成、機能、運用方法、保守計画及び費用等に関する要求事項を明確にすることを目的とする。本仕様書に従い、発注者が評価、比較及び選定を行うことができる形で提示すること。

各機器及び設備の機能要件について、別紙、実施設計図にて標準を示すものとする。ただし、機能向上するものについては受注者の特色を活かすことができる。

1-2 提出物

- ・企画提案書（A4版、横組み可、カラー可）
- ・図面（解像度300dpi以上）

※実施設計図から変更がある場合のみ（変更内容は明記すること）

- ・機器仕様一覧（別添のとおり）
- ・プレゼンテーション資料（パワーポイント等）

1-3 企画提案書作成時の注意点

- ・企画提案書は、A4版で作成し、ページ番号を見やすい位置に付すこと。
- ・企画提案書の内容は、わかりやすいよう文書で簡潔に概要を記述すること。
- ・文書を補完するためのイラスト、マニュアル、イメージ図等を添付する場合、書類はA4版とし、関連する内容の次に添付し、様式と併せて通しでページ番号を見やすい位置に付すこと。
- ・会社名、住所、社章等の企業名が分かる記述をしないこと。
- ・企画提案内容は、以下の事項を一体的に示すこと。
 - ア 技術的提案（システム構成、機器選定等）
 - イ 運用提案（オペレーション、教育等）
 - ウ 経済性（費用、保守）
 - エ 実現可能性（工程、リスク対策）
- ・企画提案書は、以下の構成に沿って作成するものとし、プレゼンテーション審査では提出した企画提案書に基づき説明を行うこと。

第2章 提案に含める必須要素

2-1 表紙・目次（各1ページ）

- ・提出日を記載すること。
- ・目次には章番号・ページ番号を付すこと。

2-2 概要（1ページ）

- ・提案の要旨、コンセプト、期待される効果を簡潔にまとめること。

2-3 導入実績（1ページ）

- ・これまでの導入実績・信頼性について記載すること。

2-4 実施体制（1ページ）

- ・システム設計等について、経験を有する技術者等の配置について記載すること。

2-5 全体システム構成（1ページ）

- ・全体ブロック図を示すこと。

2-6 連動演出（1ページ）

- ・映像、音響、照明、サイネージの連携方法を図にて提示すること。

2-7 実現可能な演出（3ページ以内）

- ・提案する設備構成により実現可能な演出及び活用イメージについて記載すること。
- ・スポーツ興行、イベント利用、一般利用等を想定し、映像、音響、照明及びデジタルサイネージを活用した演出内容を示すこと。
- ・提案内容については、イメージがわかるように図表や動画等を用いて説明すること。

2-8 各サブシステムのシステム構成/主要機器仕様（15ページ以内）

- ・各サブシステム別のブロック図をそれぞれ示すこと。
- ・選定理由（性能・保守性・国内サポート・コスト等）を説明すること。

2-9 操作性・ユーザーインターフェース（3ページ以内）

- ・オペレーター向け画面例を提示し、運用操作フロー（平常運用、興行運用、緊急時のワークフロー）を図で説明すること。

- ・一般利用向けの簡易操作モードを具体的に示すこと。

2-10 スケジュール（工程管理）（1 ページ）

- ・マスタースケジュールを（設計承認、機器発注、搬入、設置、試験、検収、引渡し）月単位で提示すること。

2-11 試験計画（1 ページ）

- ・試験計画について具体的に示すこと。

2-12 教育・引継ぎ・ドキュメント（1 ページ）

- ・操作説明会・操作訓練の計画（回数、時間）、実技訓練項目を提示すること。
- ・引渡しドキュメント一覧（完成図書、操作マニュアル、保守マニュアル、試験成績書等）を示すこと。

2-13 運用・保守計画（5 ページ以内）

- ・運用・保守計画を具体的に明示すること。
- ・提案者は、本業務の契約金額とは別に、導入後10年間を対象としたライフサイクルコスト内訳書を提出すること。
- ・なお、ライフサイクルコストは評価資料として使用するものであり、契約金額には含まない。
- ・ライフサイクルコストは、保守計画を示したうえで、各年度別の費用内訳（保守費・ライセンス費・更新費等）を記載すること。また、各費用について、積算根拠や増額要因も明示すること。

（例）

項目	1 年目	2 年目	3 年目	4 年目	5 年目	6 年目	7 年目	8 年目	9 年目	10 年目	計
初期導入費											
保守費											
ライセンス費											
更新費											
計											
（参考）											
消耗品費											
電力量											

※電力量の算出に当たっては、年間稼働日数を50日とし、各設備の稼働条件は以下とする。

設備	稼働時間
デジタルサイネージ設備	16時間／日
映像送出設備	8時間／日
LEDビジョン設備	6時間／日
演出音響設備	4時間／日

※LEDビジョン設備及びデジタルサイネージ設備の消費電力は、標準運用時の平均消費電力（定格最大値の30%相当）で算出すること。

※演出音響設備及び演出照明設備の消費電力は、通常興行を想定した平均負荷（定格最大値の30%相当）で算出すること。

※算出根拠（消費電力、負荷率、使用時間等）を明記すること。

※提案者独自の条件により算出した場合は、その理由及び算出方法を併記すること。

- ・サイネージCMSについては、以下の項目を記載すること。また、CMS登録データ、スケジュールデータ及びコンテンツ管理情報についてはCSV、XML等の汎用形式で出力可能であり、市が指定する第三者へのデータ移管に協力できること。データ形式等の制約により直接移行が困難な場合は、画面表示等を印刷した書面を提供するなど、手作業による移行が可能となるよう必要な協力を行えること。

ア CMSの提供形態（クラウド型／オンプレミス型）

イ 初期導入費用

ウ 年間ライセンス費用の有無

エ 年間保守費用の有無

オ 5年間利用した場合と10年間利用した場合の総保有コスト

カ ライセンス数量の考え方（1台単位、1システム単位等）

キ 回線費用及びデータ使用量に伴う費用（クラウド型の場合）

- ・消耗部品の想定寿命とストック方針を示すこと。
- ・設備の主要機器に海外製品を採用する場合は、安定運用対策を明記すること。
- ・主要機器に海外製品を採用する場合は、日本国内に保守拠点及び部品供給体制を有すること。
- ・主要機器ごとのメーカー保証期間及び保証内容を記載すること。
- ・保証期間終了後の保守体制及び部品供給体制について併せて記載すること。

第3章 プレゼンテーション

- ・プレゼン形式：説明時間 30分、質疑15分程度とする。
- ・プレゼンテーション審査に参加できる人数は5名までとする。